

和年  
令8 まとめと次への準備の学期

2026

新年明けましておめでとうございます。本日から三学期が始まりました。三学期は、今年の学年のまとめの学期でもあり、次の学年への準備の学期でもあります。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年も西小学校の学校運営にご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【始業式にて校長より】  
あたりまえができる子に

昨年十一月、六年生と修学旅行に行つてきました。出発式で、「旅行とはいえ、まず皆さんのが安全・安心して活動できるように」と伝えました。集団行動なので時間を守ること、自由行動中は自主性・自律性が必要となります。六年生はそれらのことをしつかりと守り、楽しい思い出となりました。実は、このような修学旅行になることは、私も担任も予想できていました。というのも、六年生は「当たり前のことが普通にできる子」の集団ということが分かっていたからです。ある日、私が各教室



(6年生の授業の様子)

を回っているとき、六年生は習字を行つていました。そのときに、誰一人として忘れ物がなく、「普通に書写の授業を行つて」いました。三十人近くのクラスだと誰か一人は忘れてしまう子がいるのですが、そのクラスはゼロでした。書写の時間は習字セットを準備するのが「当たり前」ということが普通にできています。

「新しい年が子供たちにとって、また、保護者の皆様にとって笑顔あふれる素晴らしい一年となりますように心よりお祈り申し上げます。本年も家庭・地域・学校が手を携え、子供たちの健やかな成長を見守り、生を豊かに、便利にして、生活を豊かに、便利にしてくれるのはたくさんあります。こういった時代に必要な力は何でしょうか? 大量の情報から必要なものを選ぶ力、その情報が正しいか判断する力など、学校としても必要な力を見極め、学年に応じて身に付けさせていきたいと思います。Aーは学習のための「便利グッズ」となればと思います。

二学期半ば、教員が使用する端末機で「生成Aー」を使用することができるようになりました。前文「内の文は、「校長から保護者への新年のあいさつ」と打ち込んだところ、このような文例が出てきました。「自分で考えるより立派な文だなあ」と思いました。今後、子供たちのタブレットでも使用ができるようになります。



(タブレット活用の様子)

た。始業式では、このことを全校に紹介し、当たり前が普通にできる、「賢い西の子」になろうと呼びかけました。ご家庭でも声かけ、励ましをよろしくお願いします。